

個別事業計画書

所管部署：八木支所 産業建設課

(単位:千円)

| 事業名 | 八木農業関連施設管理費 | | 細事業名 | | | | 新継区分 | 継 続 |
|-------------|--|--|---------------------|-----------------|--|------------|--------|-----|
| 総合振興計画の位置づけ | 第2章 自然・文化・人を活かした郷を創る | | 根拠法令等 | | | | | |
| | 2 資源が循環するまちをつくる | | | | | | | |
| | (3)エネルギーの有効活用 | | | | | | | |
| 事業実施期間 | 平成 20 年度 ～ 平成 22 年度 | | 年度 | 当該年度における事業の実施内容 | 当該年度に目指す成果・効果 | 事業費 | | |
| 現状の課題 | 「氷室公園」、「氷室の郷」、「八木バイオエコロジーセンター」の適切な運営で施設利用者の「公共の福祉」の増進に寄与する必要がある。 | | 各計画年度ごとの事業概要と目標・事業費 | 平成20年度 | 環境と都市交流の拠点施設として「氷室公園」、「氷室の郷」、「八木バイオエコロジーセンター」の管理運営を行う。 | 利用者の増加を図る。 | 41,313 | |
| 具体的な実施内容 | 環境を考え、都市と農村の交流拠点として「氷室公園」、「氷室の郷」、「八木バイオエコロジーセンター」の維持・管理を行い、利活用を促進する。 | | | 平成21年度 | 環境と都市交流の拠点施設として「氷室公園」、「氷室の郷」、「八木バイオエコロジーセンター」の管理運営を行う。 | 利用者の増加を図る。 | 44,566 | |
| 事業の目的 | 各施設の有効な利活用で、環境問題への意識高揚と、安全・安心な地域農林産物の生産と加工・開発による経営改善及び担い手の育成を図るとともに、都市と農村の交流を促進する。 | | | 平成22年度 | 環境と都市交流の拠点施設として「氷室公園」、「氷室の郷」、「八木バイオエコロジーセンター」の管理運営を行う。 | 利用者の増加を図る。 | 44,566 | |
| 事業の効果 | 地域の特性を引き出し、魅力ある地域づくりに寄与する。 | | | | | | | |